

# 審判上の確認事項

審判委員長

- 1 本大会は、2024年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則、および2024年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部6人制規則の取り扱いにより実施する。
- 2 競技参加者は、公式競技規則を熟知し、これを守らなければならない。また、監督およびチームキャプテンは、チーム関係者の言動について責任をもたなければならない。
- 3 両チームのラインアップをスコアラーがスコアシートに記入し終えたら、チームはラインアップを訂正することはできない。ただし、そのセットが始まる前にスターティングラインアップの選手が負傷した場合は、監督がファーストレフェリーに申し出て、確認後変更することができる。この変更は選手交代には含まれない。なお、変更は負傷した選手のポジションに限る。
- 4 競技参加者は、相手チームに向かってのガッツポーズや威嚇する行為等のスポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。また、コート上の選手がベンチスタッフや交代選手とハイタッチ等を行わないこと。
- 5 監督は、ラリー中も自コートベンチ前フリーゾーンで立ち上がったたり、歩いたりして指示を与えることができる。着席する場合、その位置は記録席に最も近いベンチとする。
- 6 タイムアウトの要求は、公式ハンドシグナルを明確に示して要求すること。タイムアウトの間、プレー中の選手は自チームベンチ近くのフリーゾーンに出なければならないが、その位置については制限されない。また、タイムアウトは30秒であるが、選手は30秒を待たずにコートに戻ってもよい。ただし、タイムアウトの時間が短くなることはない。
- 7 選手交代の要求とは、交代選手がコートに入る準備をして、選手交代ゾーンに入ることをいう。同じ中断の間に2組以上の選手交代をするとき、同一の要求とみなせるように、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンへ出向かなければならない。
- 8 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。タイムアウト、給水のためのタイムアウト、セット間および審判員が危険と判断した場合のみモップの使用を許可する。
- 9 リベロのリプレースメントは、必ず1ラリー挟まなければならない。その際、ボールがアウトオブプレーの間に、チームベンチ前のリベロリプレースメントゾーン内で速やかに行うこと。